

企業の経営者および IT システムに関して責任のあるエグゼクティブは、ビジネス継続性を阻害するシステム障害を回避するために、IT システム基盤の現状と将来のキャパシティを定期的かつ継続的に分析し、収集された正しい情報に基づいて IT リソースの購買決定を行う必要があります。さらに Basel III および SOX(Sarbanes-Oxley)などのリスク・マネジメントのガイドラインにより要求されるコンプライアンスの目標を達成するために、定期的にキャパシティ・レポートを作成する必要があるでしょう。

キャパシティ分析は複雑で工数のかかる作業となり、技術的、統計的な両方のスキルを持つアナリストのチームを必要とします。キャパシティ分析を行うためには、様々な作業が必要です。

- ◆ 現在のキャパシティをレビューしキャパシティ問題を特定
- ◆ 数千のサーバからデータを収集/蓄積
- ◆ 過去データに基づいてキャパシティ予測
- ◆ 将来のキャパシティの問題を特定

手作業によるキャパシティ分析はコストがかかり、再現可能なプロセス定義は容易ではありません。では、コスト削減や一貫性、再現性、キャパシティ・プランニング・プロセスを確保しつつ、目標を達成するにはどうすればよいでしょうか？

SightLine ForSight は、IT 予測プロセス(IT forecasting process)を自動化(オートメーション)し、計画に必要なリソースを削減することが可能です。ForSight は完全に自動化(オートメーション)されたキャパシティ・プランニングのプロセスへ、未計画な状態もしくはアドホック・プランから、即座に組織化された計画的なプロセス定義へと変換することが可能です。

Basel III 解説

<http://mktgblog.sightlinesystems.co.jp/2015/11/basel-3.html>

SOX(Sarbanes-Oxley)解説

<http://mktgblog.sightlinesystems.co.jp/2015/11/sox.html>



SightLine ForSight メリット

SightLine ForSight を使用することで、様々なメリットを得ることが可能です。

- ◆ キャパシティ・プランニングやレポート作成のコスト削減
- ◆ 再現性かつ自動化(オートメーション)されたキャパシティ・プランニング・プロセス
- ◆ 将来のキャパシティの問題を早期に警告し、積極的なリスク・マネジメントが可能
- ◆ 正確な情報に基づいた IT リソースの購買決定を行うことが可能



日本サイトラインシステムズ株式会社

〒105-0014 東京都港区芝 2-29-10

ユニゾ芝二丁目ビル 3F

<http://www.sightlinesystems.co.jp/>

<http://blog.sightlinesystems.co.jp/>

<http://www.facebook.com/SightLineSystemsJapan/>

<https://www.google.com/+SightlinesystemsCoJpPlus/>

<https://twitter.com/sightlinejapan/>

<http://www.youtube.com/user/SightLineSystemsJP/>

Copyright ©2012-2015 SightLine Systems Japan K.K. & SightLine Systems Corp. All rights reserved.

SSJ-sol-Automated-Capacity-Planning-15-1126